



2023年3月期 決算説明資料

株式会社  コーポレーション

2023年6月5日
東証スタンダード市場 コード：7264
<https://www.muro.co.jp>

I . 2023年3月期 決算概況

II . 2024年3月期の見通しと今後の戦略

I . 2023年3月期 決算概況

1. 自動車業界の動向

- 国内生産は前年比7.36%増の810万台、国内販売は同4.02%増の438万台、輸出は同4.88%増の386万台となった。

※2022年4月～2023年3月累計

- 日系自動車メーカーの海外生産台数は、前年比3.0%増の1,696万台となった。

※2022年1月～12月累計

注) 一般社団法人日本自動車工業会 統計データ より (2023.06.05現在)

2. 当社事業の状況

● 金属関連部品事業

半導体不足に伴う自動車の生産調整と主要客先であるユニットメーカーの欧米・中国自動車メーカー向け製品の減産の影響により実質的には減少したが、材料価格等の売価反映により数字上は増加となった。

● 樹脂関連部品事業

タイでは非自動車向け売上が伸びて売上増となったが、日本では金属関連部品事業同様自動車の生産調整に伴い売上が低調に推移し、全体として売上減となった。

● その他事業

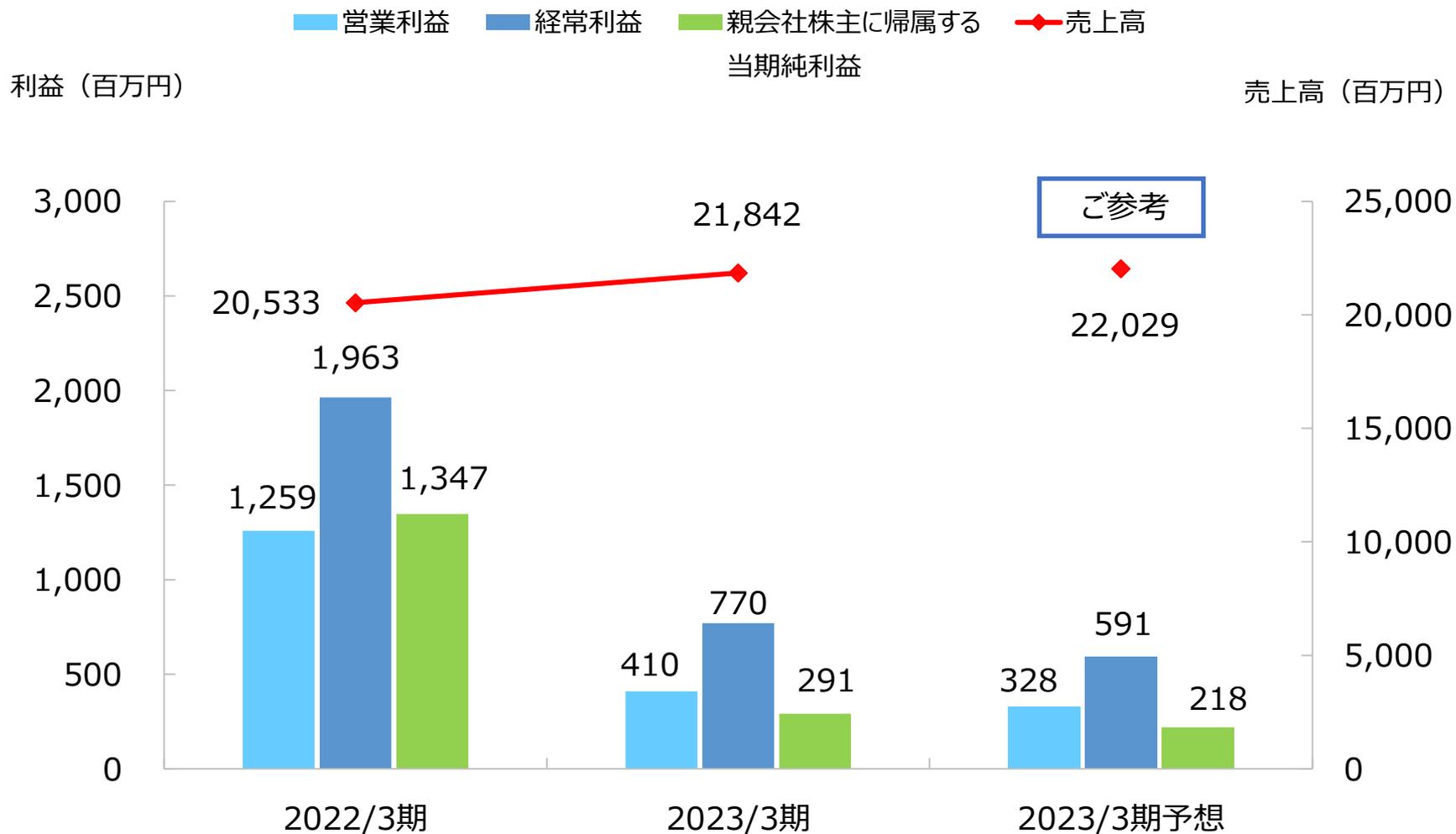
海外は経済回復傾向により、米国と欧州、韓国を中心に売上増であった。国内については、建築向けの新規販売で売上増であった。

3. 連結業績

売上高：	21,842百万円	(前年比 6.4%増)
親会社株主に帰属する当期純利益：	291百万円	(前年比 78.4%減)

売上高・利益の推移

連結

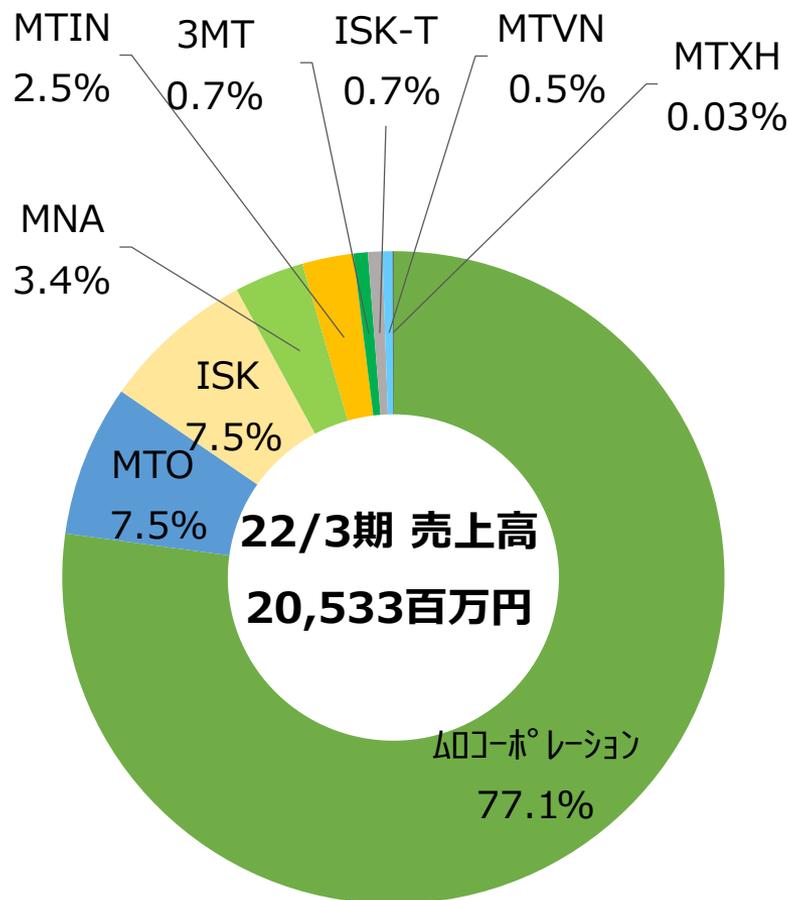


2023年2月13日開示

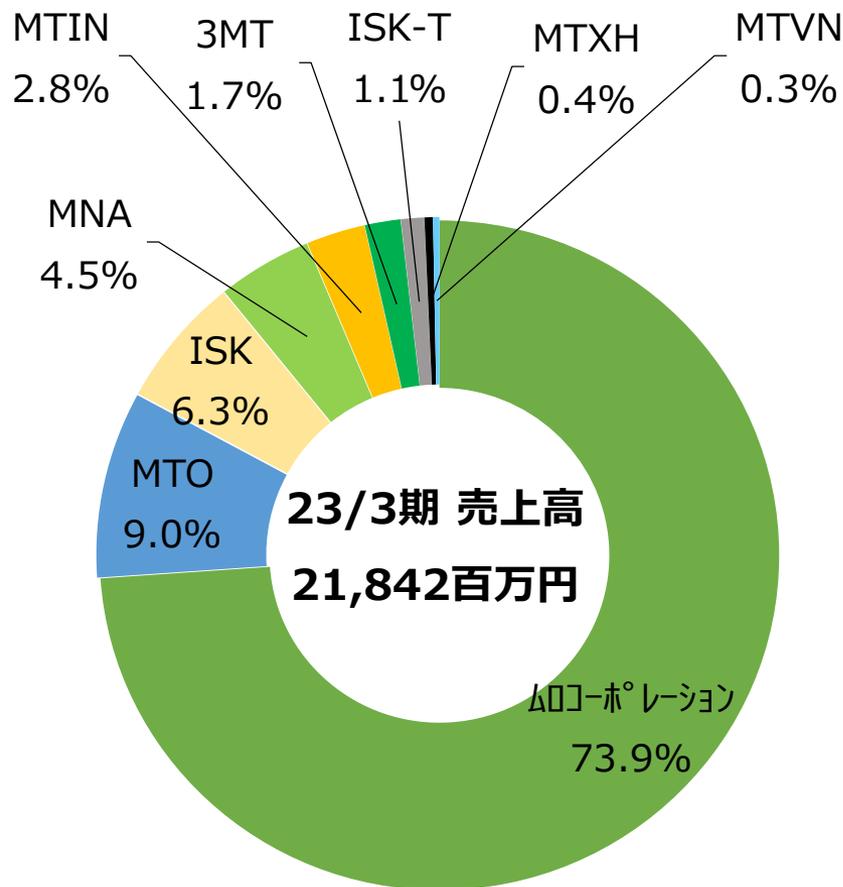
グループ会社の売上比率

連結

拠点詳細 : <https://www.muro.co.jp/company/abroad.html>



*MTO (北米)、MNA (カナダ)、MTIN (インドネシア)、MTVN (ベトナム)、ISK-T (タイ)、3MT(タイ)、MTXH(中国) : 2021/12期



*MTO (北米)、MNA (カナダ)、MTIN (インドネシア)、MTVN (ベトナム)、ISK-T (タイ)、3MT(タイ)、MTXH(中国) : 2022/12期

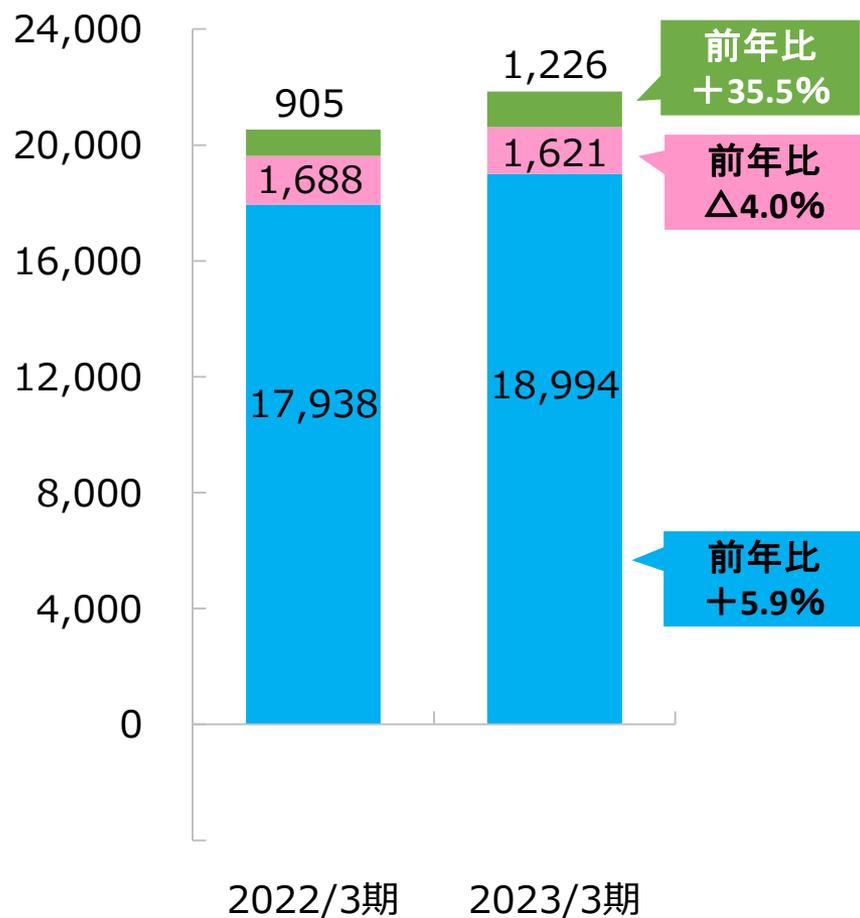
※上記グラフは、内部取引消去後の売上比率を表わしています。※ ISK:いがり産業

セグメント別売上高・利益の推移

連結

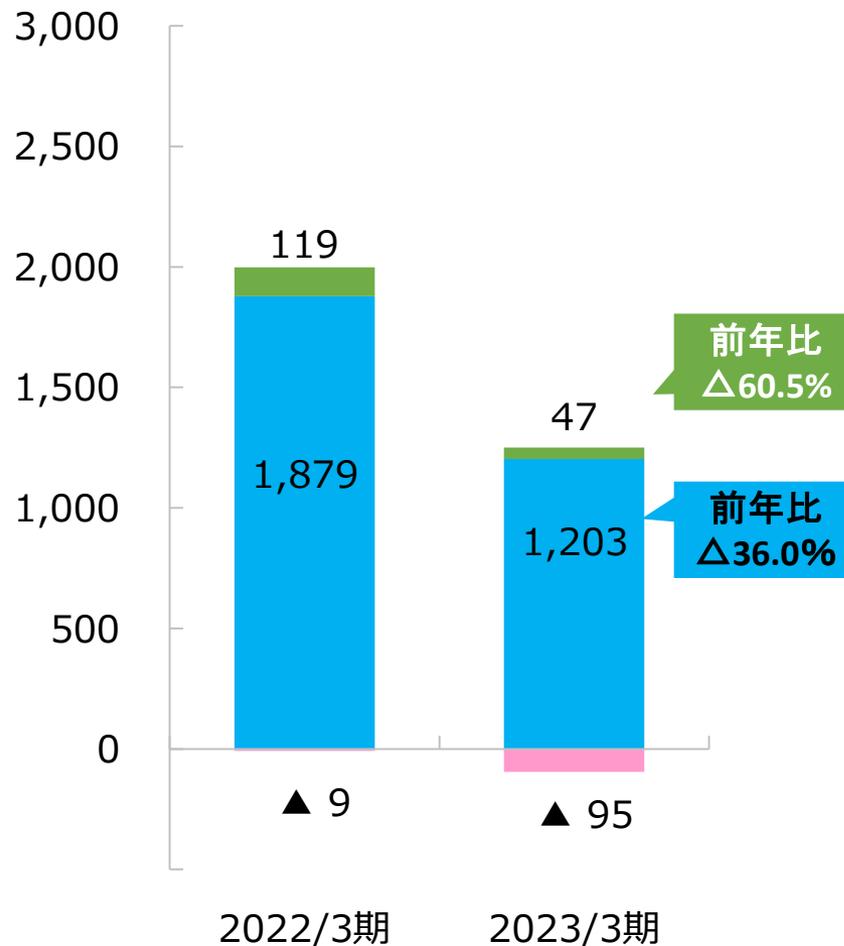
(百万円) 売上高

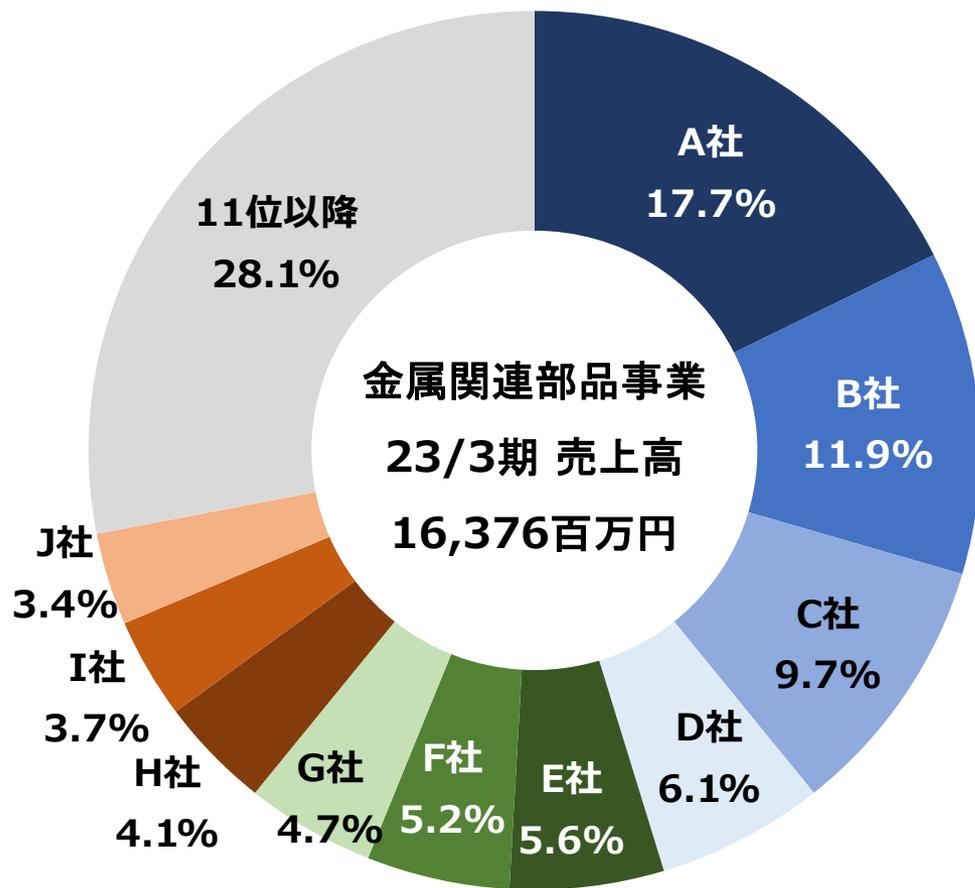
■ 金属関連部品事業 ■ 樹脂関連部品事業 ■ その他



(百万円) セグメント利益/損益

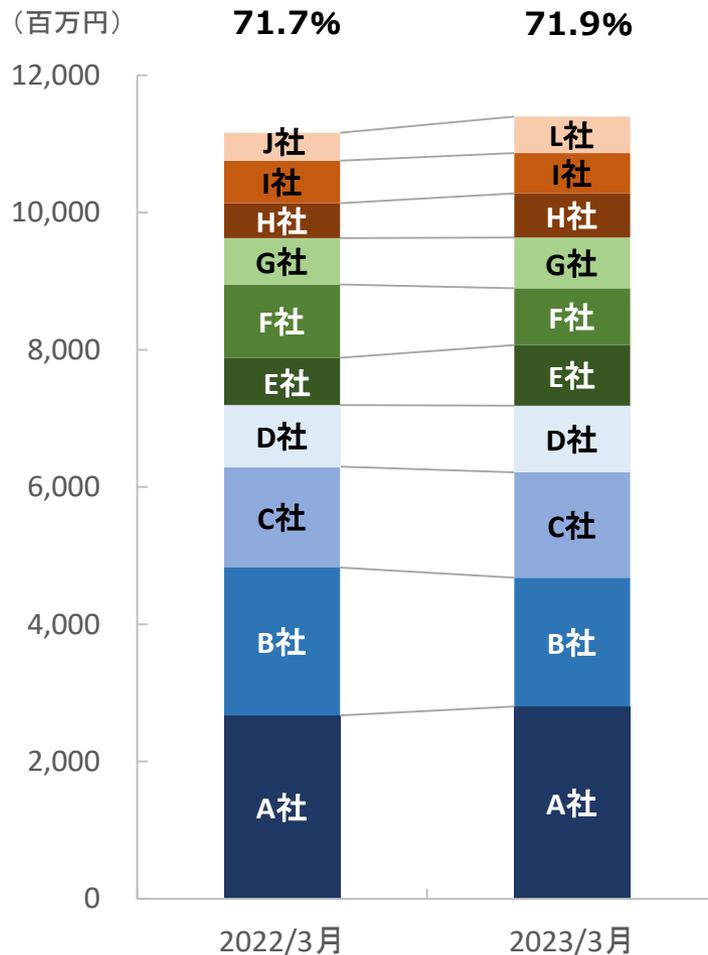
■ 金属関連部品事業 ■ 樹脂関連部品事業 ■ その他

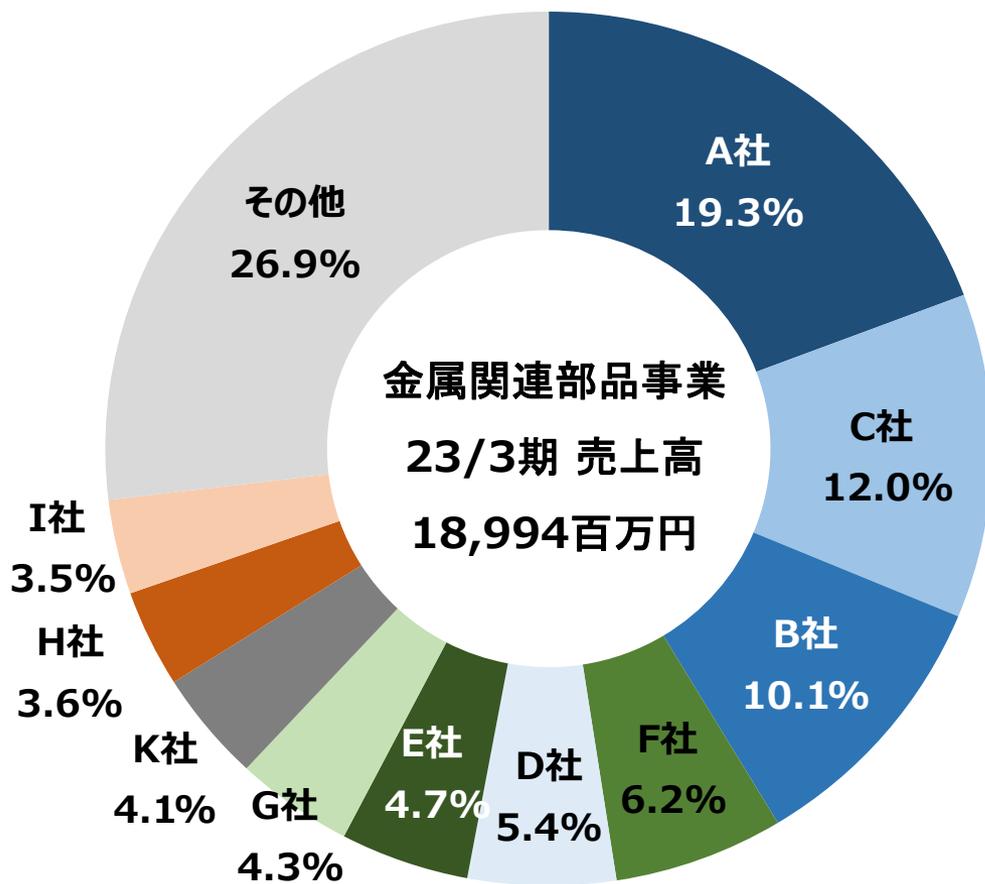




※前年実績：16,042百万円

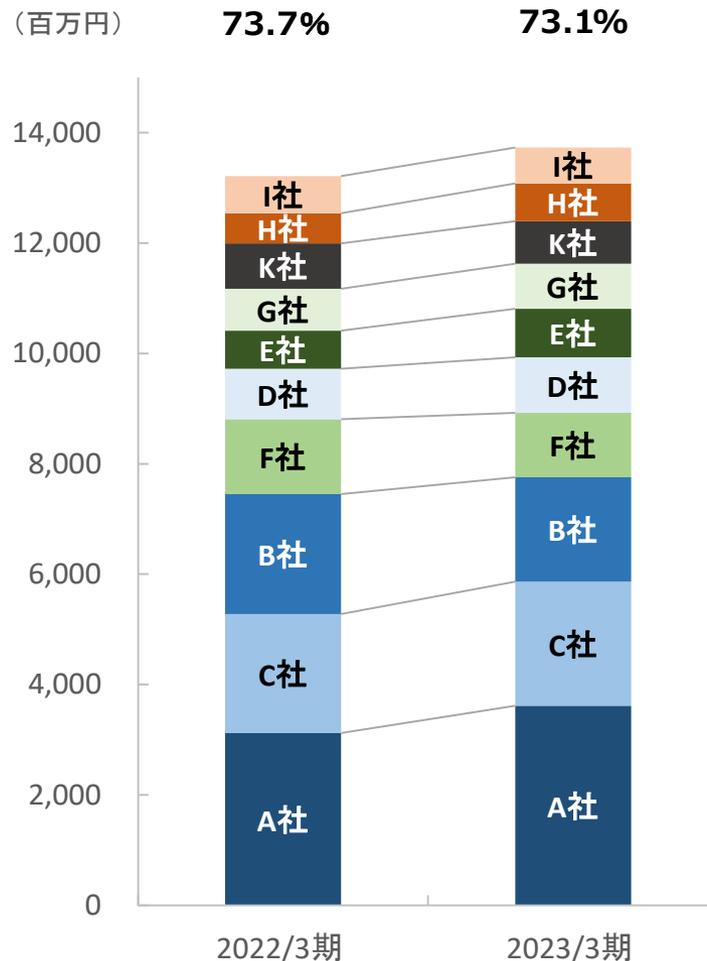
取引先別売上高（実績）上位10社





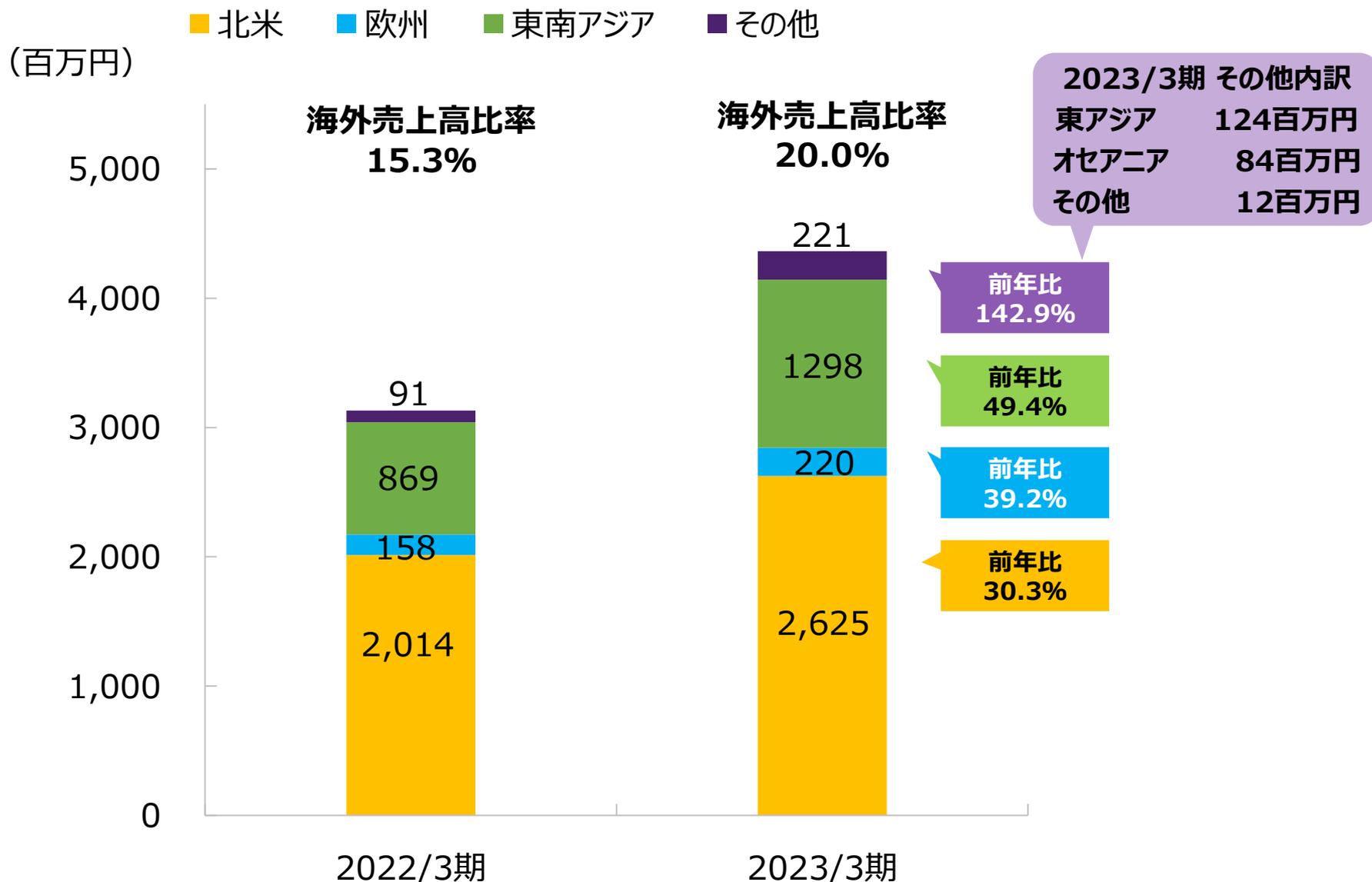
※前年実績 : 17,938百万円

取引先別売上高 (実績) 上位10社



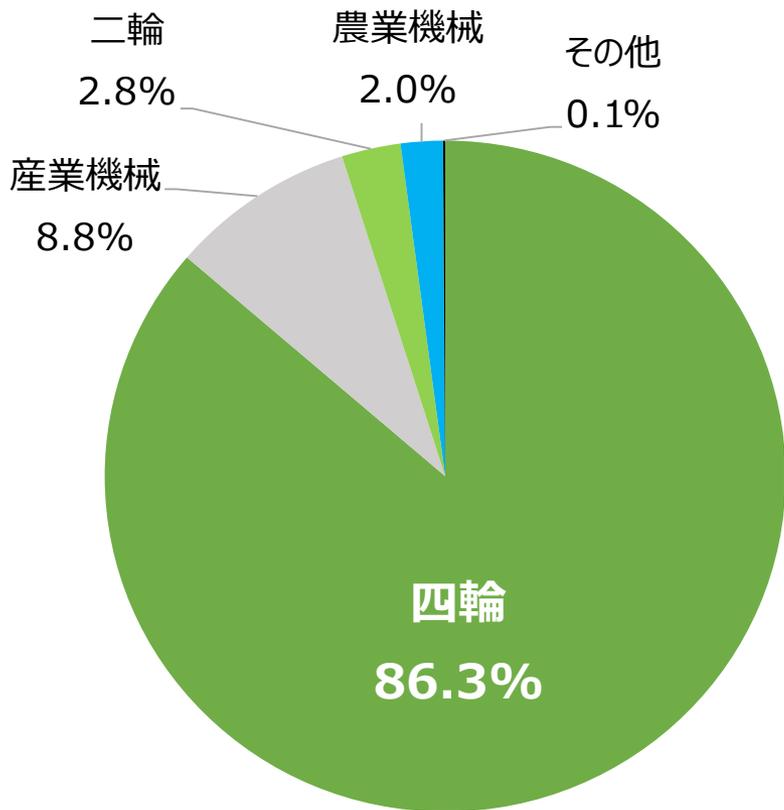
海外売上高

連結



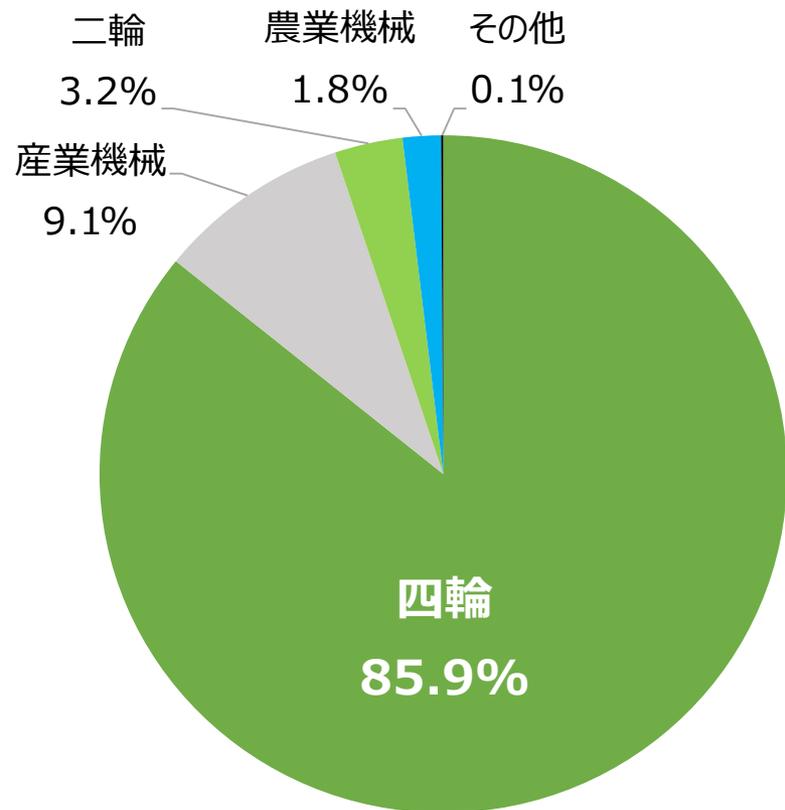
金属関連部品事業 セグメント別売上比率

単体



■ 四輪 ■ 産業機械 ■ 二輪 ■ 農業機械 ■ その他

2022/3期 売上高 16,042百万円

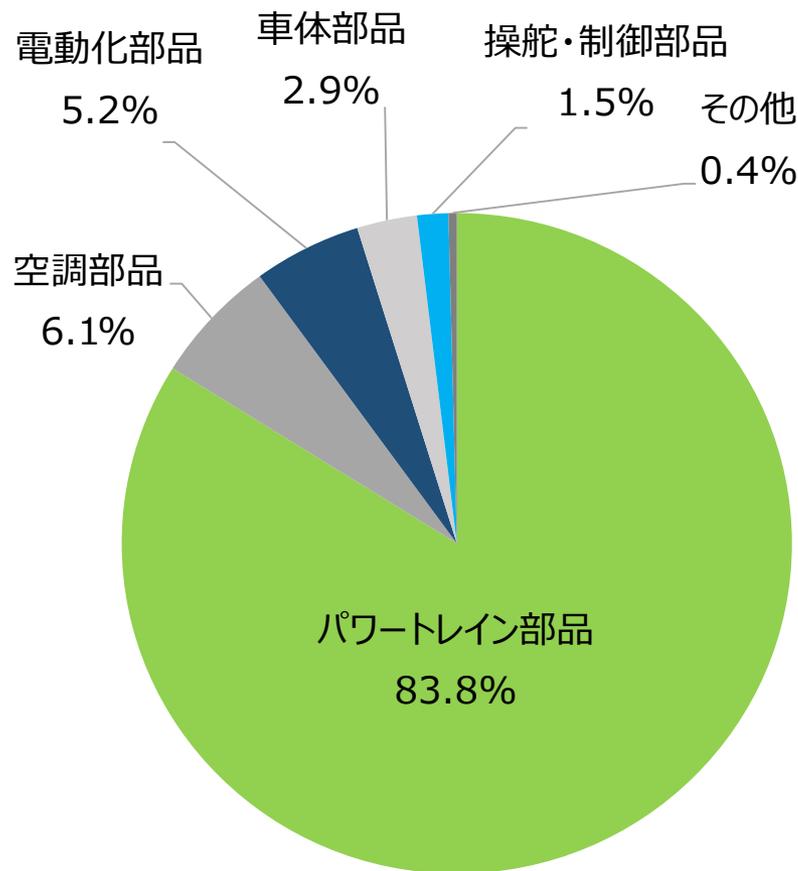


■ 四輪 ■ 産業機械 ■ 二輪 ■ 農業機械 ■ その他

2023/3期 売上高 16,376百万円

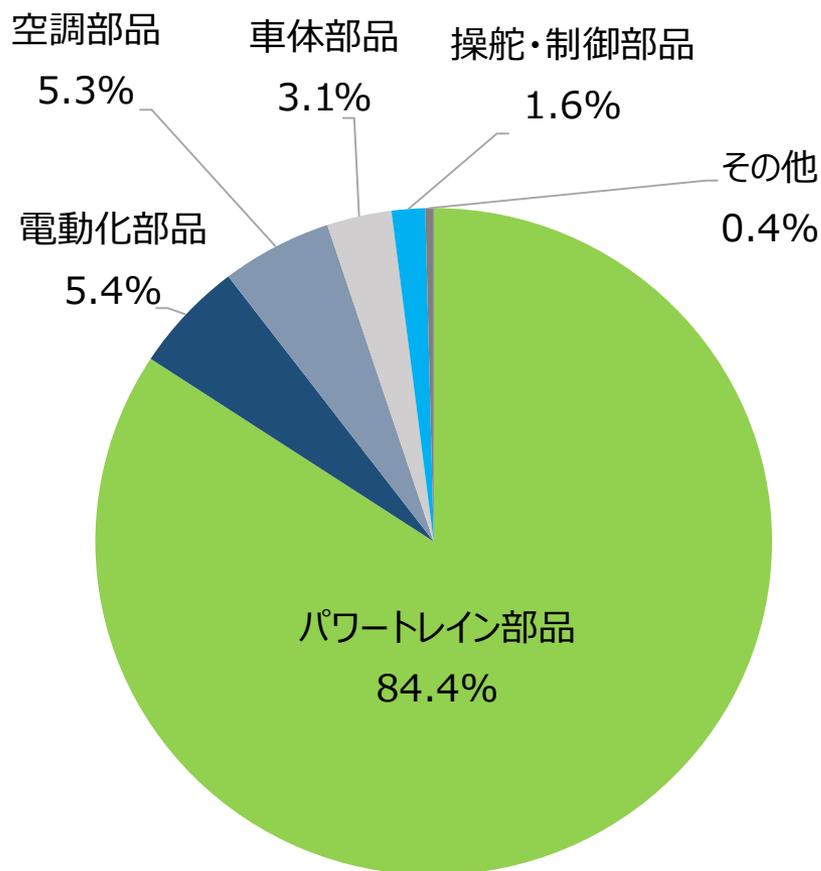
金属関連部品事業 四輪売上比率

単体



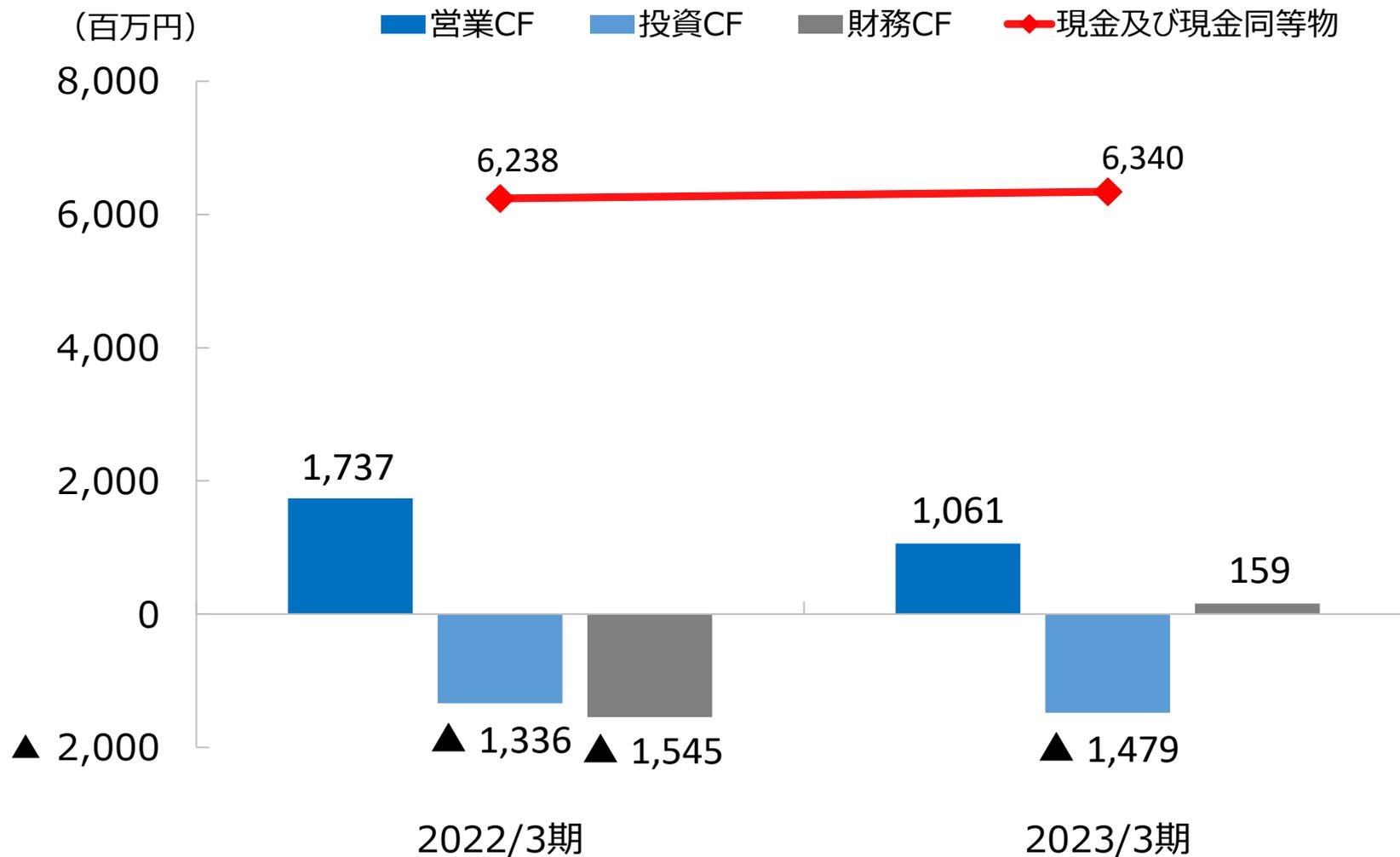
- パワーTRAIN部品
- 電動化部品
- 空調部品
- 車体部品
- 操舵・制御部品
- その他

2022/3期



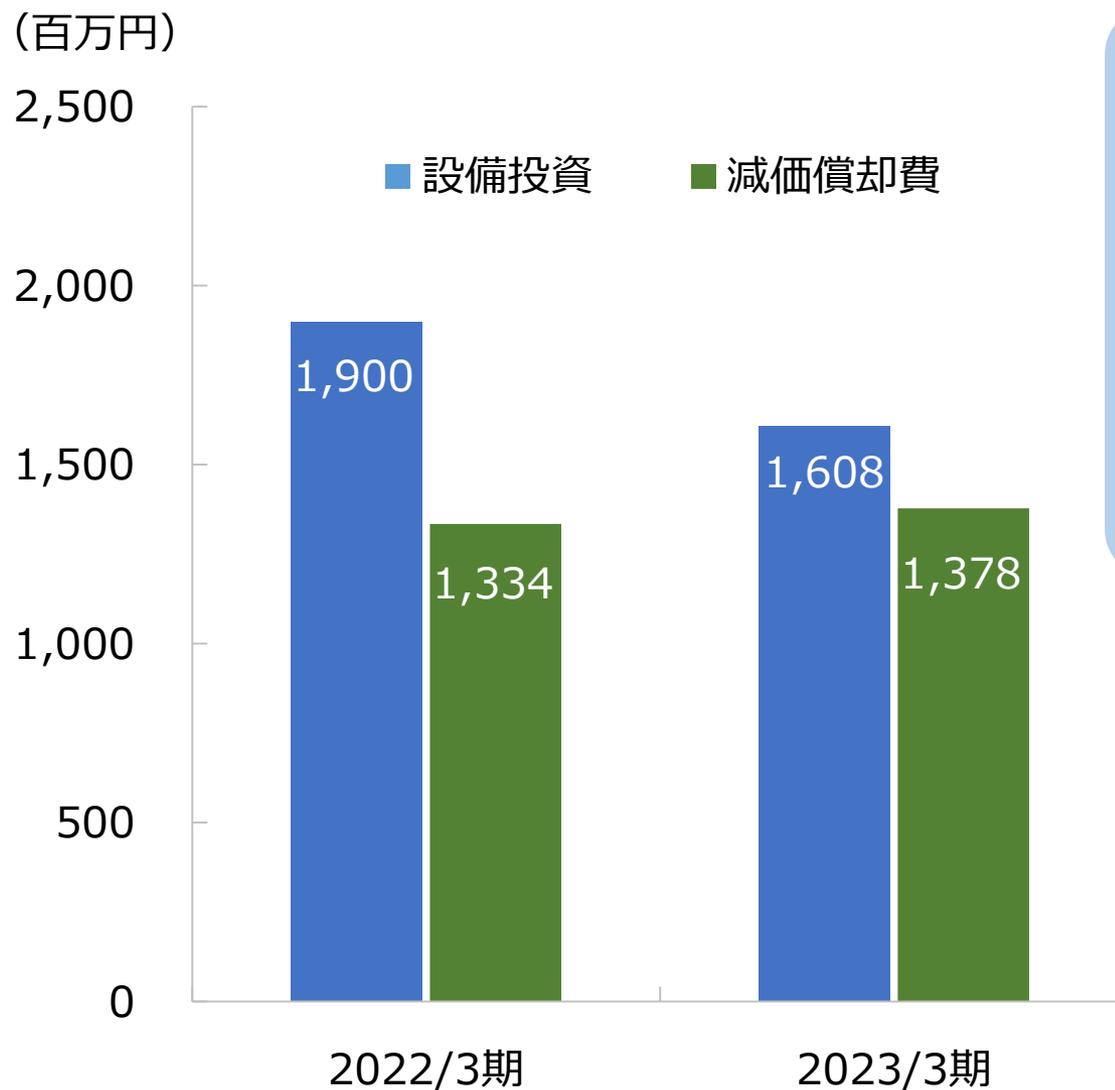
- パワーTRAIN部品
- 電動化部品
- 空調部品
- 車体部品
- 操舵・制御部品
- その他

2023/3期



設備投資・償却費

連結



主な設備投資額

■ 建物	618百万円
■ 構築物	25百万円
■ 機械装置	568百万円
■ 工具器具・備品	82百万円
■ 金型	211百万円
■ 建設仮勘定	40百万円
■ 無形固定資産	31百万円

2023年3月期の取り組み

- ◆ 産学連携による新規事業創出
日本大学・宇都宮大学・福岡女子大学
- ◆ 新しい品質管理体制へ
IATF16949認証を取得
- ◆ 管理者向け教育を強化
- ◆ コストの上昇分の取引価格への反映
原材料価格、エネルギーコスト等
- ◆ 保守保全業務の強化に向けたIoT研究
- ◆ 生産増強のための設備投資
 - ✓ 表面処理（ニムフロン）2号ライン増設
 - ✓ ピーティームロテックインドネシア工場の2棟増設
- ◆ 自動化・合理化に向けた設備投資

Ⅱ．2024年3月期の見通しと 今後の戦略

自動車業界の動向

- 半導体需給の改善を見込み、自動車各社は増産を計画。足下では昨年度よりも需給が改善している様であるが、調達については各社の購買力により差があり、これが生産に大きく影響していくものと思われる。
- 国内は景気も安定しており、自動車もバックオーダーを多く抱えているので、部品調達が正常化すれば好調に推移すると思われる。
- 海外は、欧米での景気後退が懸念されている上に中国も国内経済が弱く、不安要素が多い。特に中国では日系メーカーがシェアダウンしており、欧米の景気後退も含めて自動車各社の輸出やユニットメーカーの欧米・中国自動車メーカーへの製品供給減の影響を注視して行く必要がある。

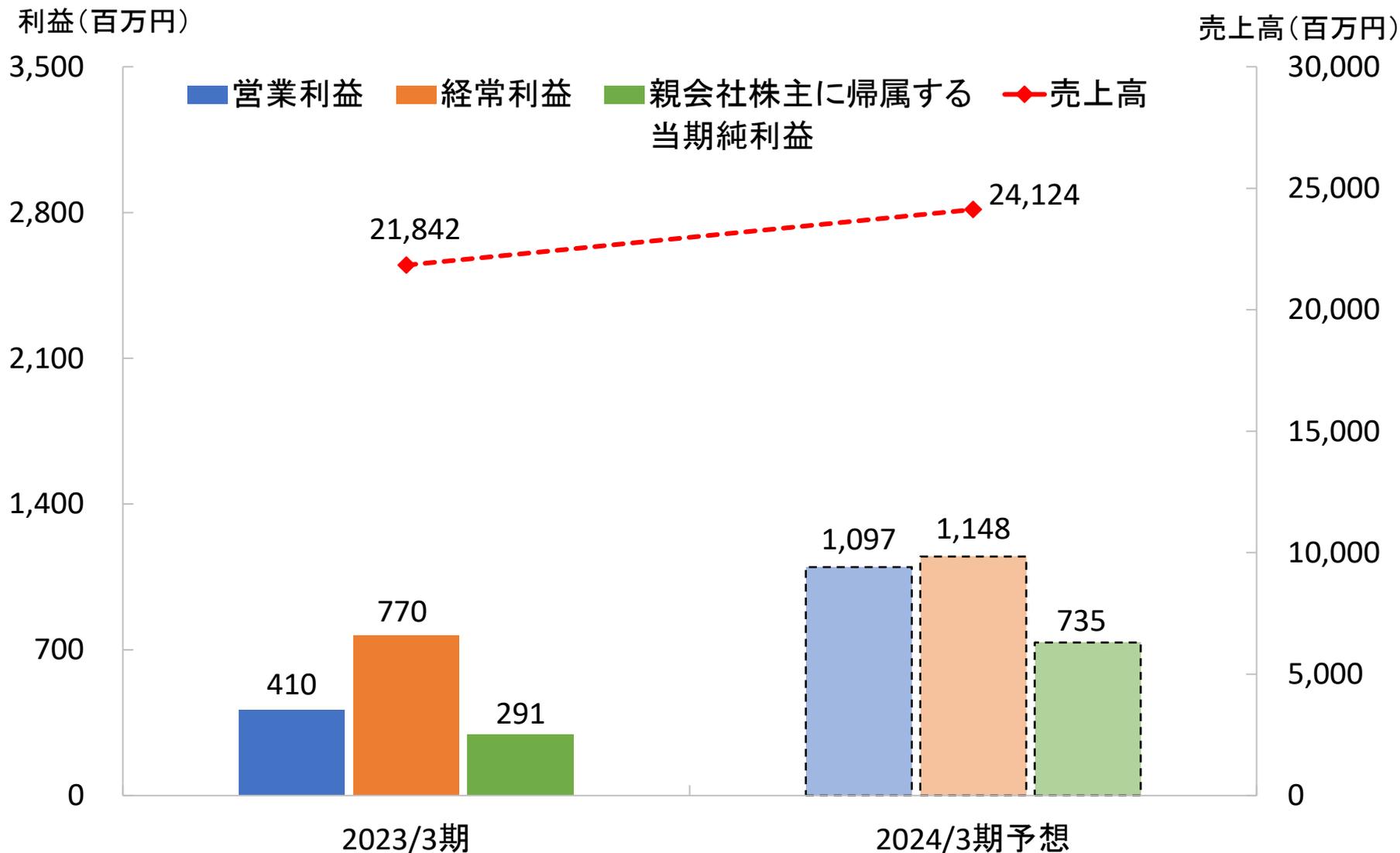
<連結業績予想>

売上高	:	24,124百万円（前年比 10.5%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	:	735百万円（前年比 152.3%増）

製造コストの上昇、半導体の供給不足の影響などが予想されるものの、増収・増益を見込んでいる。

2024/3期の売上高・利益予想

連結



目標 電動化に対応しつつ、生き残りに向け新たな収益構造を確立する

- ◆ 新規事業の創出
- ◆ 事業ポートフォリオ再構築

戦略

- 全社
 - カーボンニュートラルの推進
 - 安全と品質（SQ）の取り組み強化
 - 自動化・合理化投資の推進
 - 人材確保の取り組みと働き方の見直し
- 金属関連部品事業
 - 事業領域の拡大と見直し
 - 中国市場における事業拡大
 - 海外子会社を活用し、現地供給体制の強化
- 樹脂関連部品事業
 - 金属＋樹脂製品の製品開発
 - 産学連携による事業創出（宇都宮大学）
 - 自社開発ブランド、MGGPの事業化
- その他
 - 既存品のグローバル市場での拡販
 - 産学連携による事業創出（日本大学）
 - 新製品開発の強化

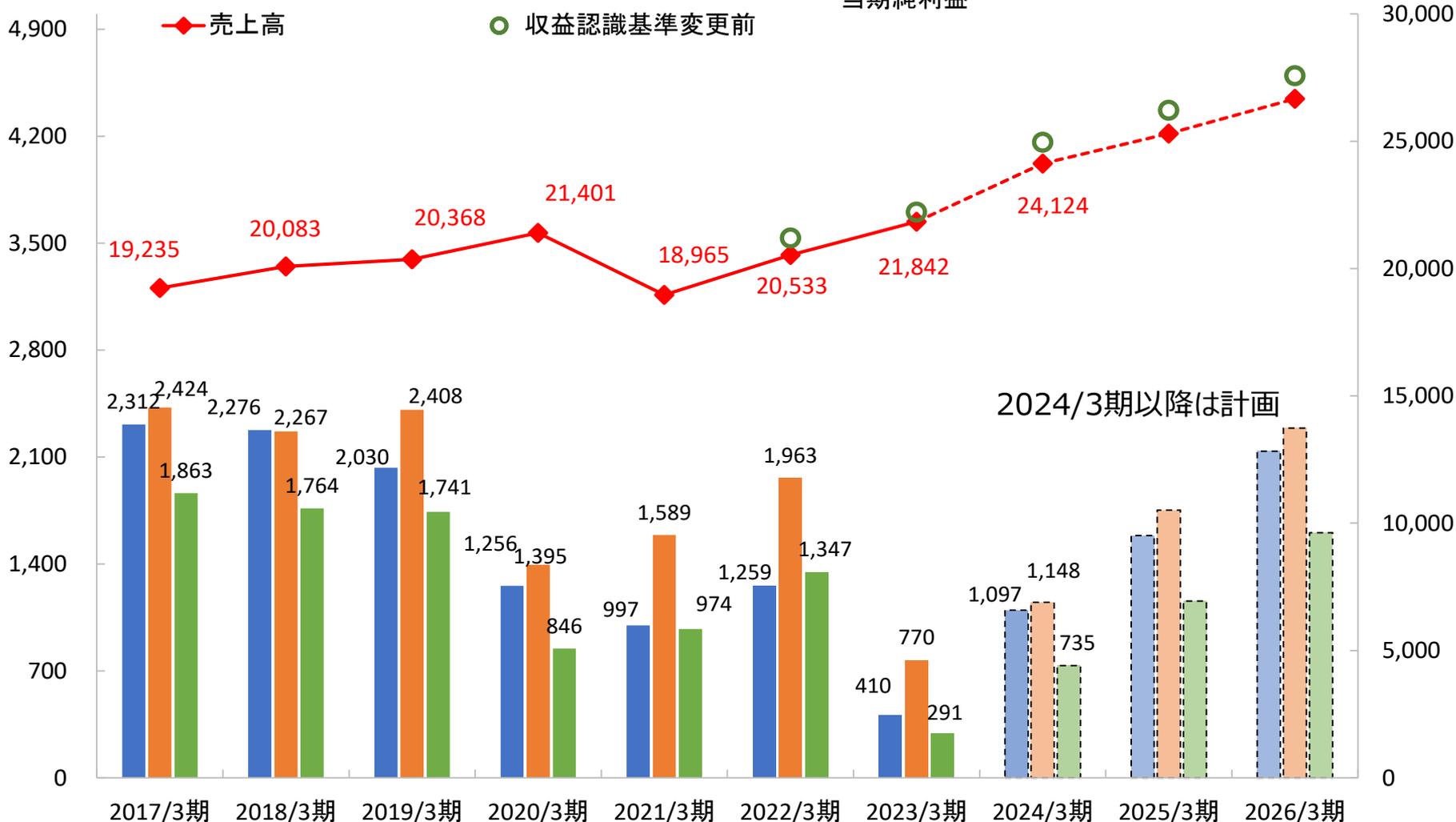
売上高・利益の中期計画

連結

利益(百万円)

売上高(百万円)

- 営業利益
- 経常利益
- 親会社株主に帰属する当期純利益
- 売上高
- 収益認識基準変更前



中期計画の前提・投資計画

連結

設定為替レート USD=130.0円、CAD=100.0円、THB=3.80円、IDR=0.0085円、CNY=19.2円

自動車生産台数予測

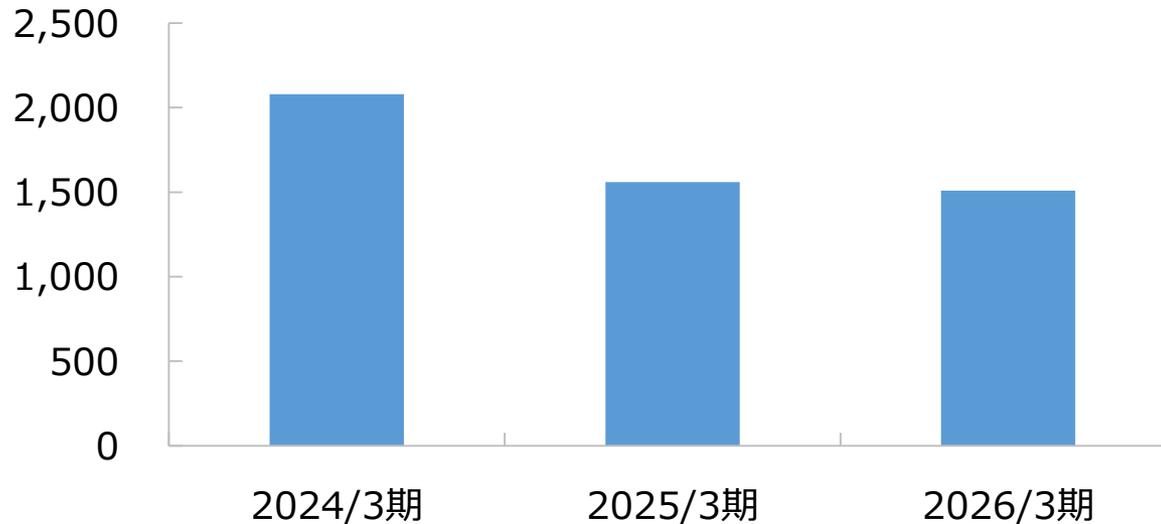
(日系メーカー)

	2024/3期	2025/3期	2026/3期
国内生産	836万台	906万台	941万台
グローバル計	2,663万台	2,824万台	2,912万台

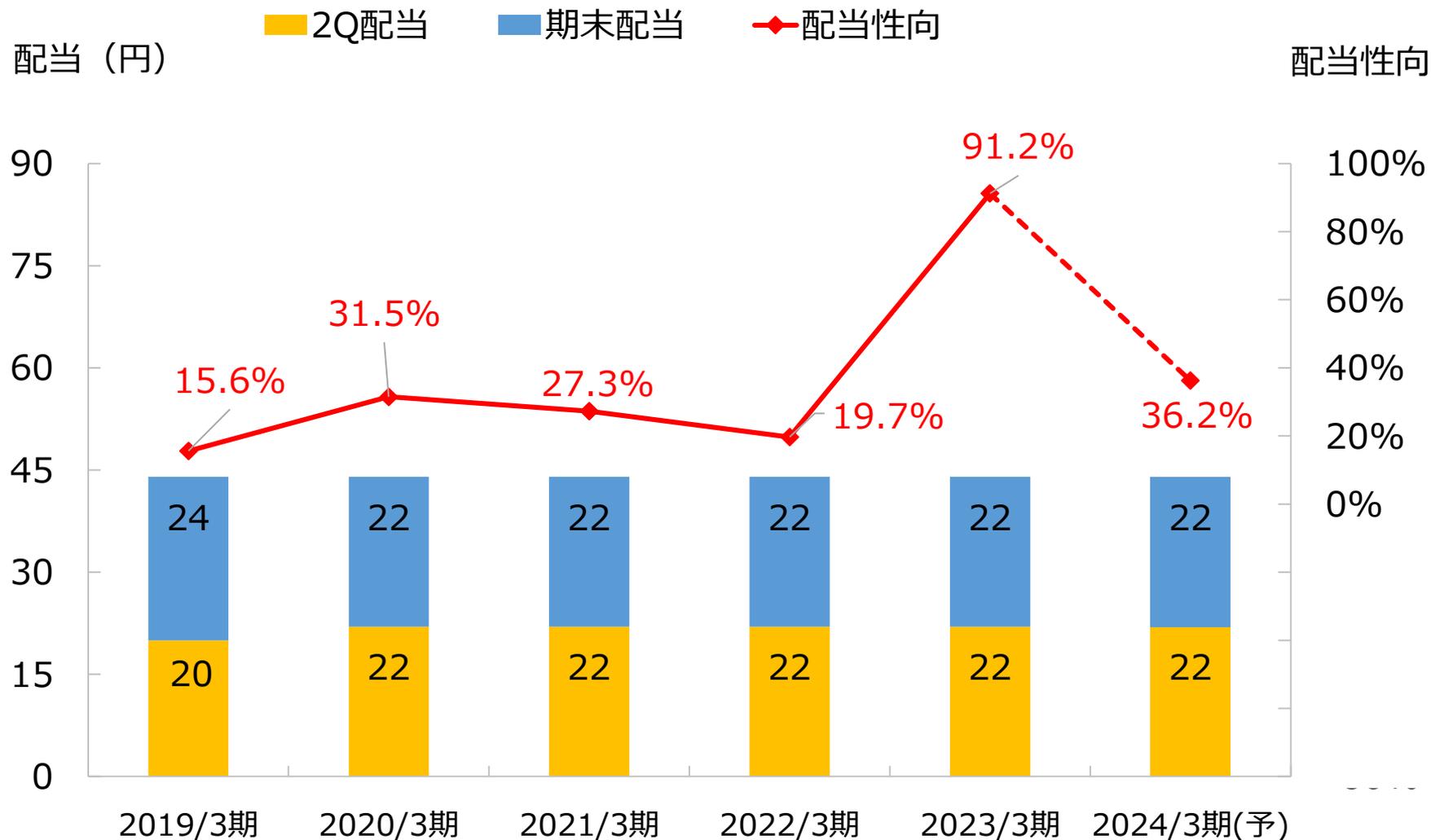
※台数予測の数値は2022年9月時点

投資計画

(百万円)



配当の状況



ご参考

当社トピックスの紹介

お取引各社様からの表彰

トヨタ自動車 三好工場様・明知工場様、ジェイテクト様より、
当社製品の品質レベルの高さをご評価いただきました。

今後も、お客様から信頼される会社であり続けられるよう、より一層品質レベルの向上に努めてまいります。

トヨタ自動車

三好工場様・明知工場様

「品質優秀賞」



ジェイテクト様
「品質特別賞」



IATF16949:2016およびその他認証取得

IATF16949：2016認証を取得

- ムロコーポレーション
清原工場・烏山工場・菰野工場
エンジン・トランスミッション・
ステアリング・コンプレッサーおよび
アスクール用プレス部品の製造
- ムロテック オハイオ コーポレーション
(北米子会社)
Precision stamping, CNC machining,
grinding products, heat treating

ISO9001 認証を取得

- 北関東プレーティング (国内子会社)

これからもグループ全体でお客様に満足と安心をお届けできるよう、品質保証体制の強化に努めてまいります。



省エネ法の事業者クラス「S」評価

省エネ法に基づく2021年度省エネ定期報告において、経済産業省から事業者クラス分け評価制度の「Sクラス」に認定されました。

今後も、継続的に環境負荷の低減に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

[経済産業省 資源エネルギー庁 サイト](#)

MGGPブランドに新しい製品が加わりました

MGGP* ecoecoシリーズの農業園芸製品に、「結び形」と「丸形」という新しい製品が加わりました。

先行発売したメガネ形と同じく素材に生分解性バイオプラスチックを使用した環境配慮製品です。農業試験場の声をもとに作っており、農作業の「こんなほしい」がカタチになりました。

*MGGPは、Muro group green project の略で、ムロコーポレーショングループのサステナブルブランド名です。

メガネ形

植物の生長を妨げることなく、結束誘引作業を効率的に行えます。



結び形

簡単に支柱同士を結束できます。



丸形

植物の生長を妨げない工夫があります。



ありがとうございました

IRに関するお問い合わせ先



株式会社ムロコーポレーション 管理本部

TEL: 028-667-7122

FAX: 028-667-8808

E-mail: ir@muro.co.jp

本資料取扱いに関するご注意

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれていますが、これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境の変化等により、計画や予想と異なる可能性があることにご留意ください。